

=====

MVP バージョンアップ情報

2005 年 06 月 株式会社モリサワ

=====

※ 機能追加などの詳細な説明は、MVP 取扱説明書（リファレンス編）をご覧ください。

1.31 から 1.32 への変更点

【不具合改修】

- 印刷エラーチェック
 - ・大量レコードを印刷エラーチェックすると、正しい結果が得られない不具合を修正しました。
- 住所ボックス、宛名ボックス
 - ・CID 外字入力指定が含まれるレコードを処理した場合、自動組版で正しい結果にならない不具合を修正しました。
- DB パレット
 - ・ContactXML ファイルを読み込んだ場合、レコードによってフィールドの数または、フィールドの順番が違う不具合を修正しました。

1.30 から 1.31 への変更点

【不具合改修】

- バーコードボックス
 - ・JAN13、UPC-E のチェックデジットが7の場合に正常にバーコードが生成できない不具合を修正しました。
- 書体指定
 - ・欧文 OpenType フォントのファミリー書体 (Italic, Bold, BoldItalic 体) がフォントリストに表示されない不具合を修正しました。
- フィルター実行
 - ・データベースファイルに「カンマ区切り(.csv)」を指定すると、「抽出条件にあうレコードはありません。」とアラートが表示され、正常処理できない不具合を修正しました。
 - ・データベースファイルに「タブ区切り(.txt)」でフィルタ実行し、面付けを行わずに出力すると、同じデータが2部出力される不具合を修正しました。
 - ・フィルタ実行印刷を途中で[中断]キーを押して中断すると、次回、フィルタ実行を選択するとアラートが表示され、処理できなかった不具合を修正しました。

【機能変更】

- 人名ボックス
 - ・自動振り分け指定時も、氏名と敬称のアキを指定可能にしました。

※※※ ご注意 ※※※

本バージョン(Ver1.31)で保存した文書を旧バージョン(Ver1.30 以前)で読み込んだ場合、旧バージョンでは氏名と敬称のアキは無効になるので、組版結果が異なる場合があります。ご注意ください。

1.21 から 1.30 への変更点

【不具合改修】

- EM 比指定 (拡張組版・字間調整) が正常に動作していなかった不具合を修正しました。

※※※ ご注意 ※※※

当不具合を修正することにより、EM 比指定のある文書を開くと、場合によっては組版体裁が変わっている場合があります。お手数をお掛け致しますが、必ず組版結果をご確認頂きますようお願い致します。また、Ver 1.30 で EM 比指定した文書を Ver 1.21 以前のバージョンで開いた場合も同じことが言えますので、ご注意頂きますようお願いいたします。

【機能追加】

- ボックス編集
 - ・ 複写機能を追加しました。指示された行列方向と間隔、個数でボックスや図形の複写をします。
- 印刷
 - ・ ひとつの画像が複数のレコードで使用している場合、1 回しか出力しないようにして、印刷の高速化を図りました。

【機能変更】

- フィルター実行
 - ・ フィルターテーブルはドキュメントに保存ようにしました。これにより、フィルター実行で使われる DB データは DB パレットで指定されたものとなります。また、ダイアログを変更し、分かりやすいユーザーインターフェイスにしました。
- テキスト編集（複数行テキスト、一行テキスト、表組）
 - ・ テキスト入力／編集が行いにくかったので別ダイアログを開いて、そこで入力／編集を可能にしました。また、そのダイアログは直接メニューから呼び出せるようにしました。
- ボックス編集
 - ・ 複数のボックスを選択し、組版属性（書体や文字サイズ等）を変更できるようにしました。
- ナンバリング
 - ・ ユーザーインターフェイスを他の設定ダイアログ(組み合わせ書体、色など)にあわせました。
- プレビュー
 - ・ 虫眼鏡ツールを設けて任意の場所の拡大／縮小が行えるようになりました。
 - ・ 表示倍率指定がプレビュー画面から可能になりました。
 - ・ 全レコード数、全ページ数をステータスバーに表示するようになりました。
- プレビューエラーチェック
 - ・ プレビュー更新のたび、ボックスから文字があふれているか否かなどのチェックが行えるようになりました。チェックの対象はプレビューで指定されているページ、レコードとなります。
- ウィンドウスタイルの変更
 - ・ プレビュー、レイアウト一覧、ボックスライブラリが今まではアプリケーションスタイルのウィンドウでしたが、ダイアログスタイルのウィンドウに変更しました。その結果、レイアウト画面よりも背面にいくことがないので使い易くなりました。また、最小化した場合も、ひとつのアプリケーションでタスクバーに格納されるので最大化の時にも楽に戻すことができます。

1.20 から 1.21 への変更点

【不具合改修】

- ログイン名に 2 バイトコード(日本語)を使用した場合に正常に面付けできない不具合を修正しました。
- 大量（数千件以上の）レコード時、
 - ・ プレビューに表示するための処理時間が長い。
 - ・ 印刷時、分割出力するで出力を繰り返すたびに面付け時間がかかるようになる。といった不具合を修正しました。

1.10 から 1.20 への変更点

【機能追加】

- 表組み機能

【不具合改修】

- 印刷技術処理「FreeForm2」で印刷実行後、次回印刷ダイアログを開くと、マスターID が文字化けしている不具合を修正しました。
- 固定画像がある一定のサイズ以上になると、レイアウト画面に正常に表示されなくなる不具合を修正しました。
- 一行テキストボックスの自動変形が正常に動作しない場合がありました。配置に「中央配置」が指定されている場合に動作しない不具合を修正しました。

1.03 から 1.10 への変更点

【機能追加】

- ポップアップメニュー機能
 - ・ レイアウト画面上で右クリックするとポップアップメニューが表示されますので、編集操作が格段に良くなりました。
- 印刷分割出力処理
印刷ダイアログに、「分割処理／分割枚数単位」の項目を追加しました。これを選択すると、指定された分割枚数単位で組版、面付、出力を行うので、印刷が開始されるまでの時間が短縮されます。分割枚数単位とは、面付台紙の枚数単位を指します。
- ボックスライブラリパレット
よく使うボックスをライブラリに登録して利用することができます。登録、再利用はドラッグ&ドロップ操作なので簡単です。ボックスや図形が複数同時に登録ができます。
- フィルタ実行
データベースにあるレコードの内容（例えば男女や年齢の違い）によって異なるレイアウトに自動で流し込むことができます。フィールドの内容が文字列であれば「で始まる」や「である」など、数値であれば「以上」や「より上」、また文字数による条件も設定可能です。
- 用紙サイズの変更機能
メニュー「ページ↓基本定義」で用紙サイズの変更が可能になりました。
- 用紙名称のカスタマイズ化
用紙の名称を自由に作成できるようになりました。「新規作成」ダイアログの[用紙]コンボボックスから[ユーザ定義サイズ]を選択して行います。
- 人名ボックスの振り仮名
振り仮名が行頭揃え、ベタ送りの設定が可能になりました。また親文字からの距離も指定できるようになりました（グループビ時のみ）。

【仕様変更】

- DB パレットの照合機能
- 画像ボックスの固定画像
 - ・ 画像ボックス 固定画像選択時に以下の選択肢を設けました。
 - 「Fiery FreeForm バリャブルデータとする」(初期値)
 - 「Fiery FreeForm マスターデータとする」
 - ・ 「Fiery FreeForm マスターデータとする」が指定された画像は、
 - 常に最背面に表示、出力します。
 - Fiery FreeForm マスターデータの出力対象になります。
 - ・ 「Fiery FreeForm バリャブルデータとする」が指定された画像は、
 - 他のオブジェクトと同様に層処理されます。
- プレビューの解像度
 - ・ 「プレビュー」の「設定・情報」ダイアログで、プレビュー全体の表示をきれい／早い が選択できるようにする。
 - 「早い」とは、画像は 256 色、その他も表示の解像度を犠牲にして高速に表示します。
 - 「きれい」とは、画像は数万色で表示、処理速度を犠牲にして綺麗に表示します。
- プレビュー
 - ・ DB パレットでデータベースファイルが選択されていない場合でも表示が可能になりました。
- ガイドライン
 - 今までは左と上だけが吸着対象でしたが、右と下も吸着対象としました。

【不具合改修】

- ContactXML が正常に読み込めない不具合を修正しました。
- グリッド線のグリッド線数が正常に動作していなかった不具合を修正しました。
- バーコードボックス
 - 配置指定が効かない、最背面にしか表示できない不具合を修正しました。
- 画像ボックス
 - 可変画像指定時、拡大縮小率（固定で数値入力）の指定が効かない不具合を修正しました。

1.02 から 1.03 への変更点

【不具合改修】

- 印刷
 - ・ ある一定のレコード数以上でかつ、ナンバリング指定の場合に正常に面付けできない場合がありましたので修正しました。
- プレビュー
 - ・ レコード数が多い場合に、プレビューに時間がかかる不具合を修正しました。
- DB パレット
 - ・ ContactXML が正常に読み込めない不具合を修正しました。
- ボックス編集／図形編集
 - ・ 作成できるボックスの数、図形の数は無制限にしました。

1.01 から 1.02 への変更点

【仕様変更】

- 印刷
 - ・ MVP 起動中は、前回印刷した設定内容を記憶するようにしました。

【不具合改修】

-印刷

- ・ある一定のレコード数以上になると異常に組版がおそくなる不具合を修正しました。
- ・面付け出力でトンボの位置が正常な位置に印字されない場合がありますので、修正しました。

【注意事項】

-印刷

- ・Ver1.01 までで作成された面付用のスタイルファイルが使用できなくなりました。お手数をおかけ致しますが再作成をお願い致します。

1.00 から 1.01 への変更点

【仕様変更】

-一行ボックス

- ・新規に一行ボックスを作成した場合、「自動変形」の初期値はオンとしました。

-組版（環境設定-アプリケーション）

- ・「環境設定-ドキュメント」で以下の文字群を「半角固定」にするか「欧文ローマン」で処理するかが選択できるようになりました。
半角の数字と、半角の () , . / [] =
例えば、住所等に半角ハイフンを使った場合、ハイフンが多少右にずれます。ここでの設定に「半角固定」を選択すれば解消されます。

【不具合改修】

-印刷

- ・印刷のオーバーレイ／固定部分を面付出力した場合に 1 面のみしか面付されない不具合を修正しました。

-宛名ボックス

- ・部署 1 と部署 2 の文字数がある一定の文字数を超えると正常に組版できない不具合を修正しました。
- ・役職の文字数がある一定の文字数を超えると正常に組版できない不具合を修正しました。

-人名ボックス

- ・ボックスのマージンを指定し、均等揃えした場合に正常に組版できない不具合を修正しました。

以上